

ふるさとの古老が、昨年の秋に私に言いました。「柿がたくさんなる年は、大雪になる。今年は柿が沢山なっているの、大雪になるぞ」。予言は当たり、この冬は10年に一度の寒波がやってきました。冬来たりなば春遠からじ。5月からは新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けは5類になる見通しです。春の到来が待ち遠しい昨今ですが、どんな春がやってくるやら。

さて、今月号の特集は、その道のプロの経験から学ぶ 小児診療のピットフォールです。「新生児・周産期」では体重増加不良の診断などにおける著者の経験談、「先天性心疾患」では酸素投与やプロスタグランジン投与などで注意すべきこと、「神経疾患」では脳性麻痺の早期診断などにおける著者の経験談、「血液疾患・悪性腫瘍」では重症な疾患の診断上や治療上でのピットフォール、「アレルギー」では主に喘息の診断のピットフォール、「腎・泌尿器疾患」では主な疾患の治療上の注意点、「感染症」では血液培養の重要性や徹底した治療の重要性など、「膠原病・リウマチ疾患」では主に若年性特発性関節炎について

の診断治療の概説が述べられています。いずれの論文も、エキスパートの先生方の長年の経験に基づく反省や、若い先生方への教えに満ちており、小児科の多くの先生方にとっても珠玉の内容です。

「小児医学最近の話題」では、小児におけるサル痘についての論文をいただきました。「診療」では思春期における漢方治療の概説が載っています。証を診断して治療を行う流れが、入門者にもわかりやすく、しかも詳しく述べられています。「社会小児科学」ではワクチンで予防可能な感染症について、著者のWHOでの活躍が熱く語られています。「トピックス」ではダニ舌下免疫療法におけるアドヒアランス向上への取り組みの報告、「症例」では4編の症例報告が載っています。「最近の外国業績より」では、栄養・代謝・内分泌について日本医科大学小児科学教室から論文紹介をいただきました。

以上、本号もいつものことながら、充実した内容となっています。寒い日が続きますが、暖かくして本号に目を通していただきたくお願いいたします。

(中西 敏雄)

編集：伊藤保彦・中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄（ABC順）

小児科

第64巻 第2号 2月号

2023年2月1日発行（毎月1回1日発行）

定価 3,190 円（本体 2,900 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 48,950 円（本体 44,500 円＋税 10%）

〔年間 13 冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料で〕

※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03(3811)7165 [雑誌部直通]

Tel 03(3811)7184 [営業部直通]

Fax 03(3813)0288

www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。